会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和3年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」（２）教職員の資質能力向上の推進①効果的な教育成果②教職員研修プログラムの構築 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回教員研修プログラム開発委員会 |
| 開催日時 | 令和4年2月15日（火）　16時00分～17時00分 |
| 場所 | 福岡　リファレンス駅東ビル会議室（オンライン併用） |
| 出席者 | 事業責任者：高岡　信吾 委　　　員：上里　政光、岡村　慎一、植上　一希、（オンライン参加）猪俣　昇、菊池　裕生、佐藤　昭宏　　　計7名請負業者：飯塚　正成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計1名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　合計8名 |
| 議題等 | 1. 学習評価WG進捗状況（植上）

・前回は進捗状況、プログラム作成について説明した。当初は沖縄と岡山で2回実証講座を実施し、振り返りを通じてプログラムの改善点を検討する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大により、実証講座が実施できなかったため、来年度6月か7月の段階で実証講座を実施する予定。・アクションリサーチの報告書6回分は完成済み。調査自体は非常に重要な調査となるので、関係者に役立つデータとして活用して欲しい。・研修プログラムは1時間目、2時間目、研修プログラムの手引きを作成したので成果物として共有したい。※研修プログラムについて資料を元に説明。【意見等】・これまでに比べると事例もあり具体化されている。また、能力を職業専門的と社会人基礎的に分けることで専門学校教育の強みやポジティブな面を可視化しようと内容を詰めてきたが、表現的に難解な部分、ワーキングでどこまで伝えられるかは実証講座で確認しながら修正していく必要があるので、新型コロナの感染状況が落ち着いたら実証講座を開催したい。（佐藤）・6～7月に実施する研修にこの資料を使用する予定か。それによって印刷部数が変わってくる。（飯塚）→明日の学習評価WGの確認状況によるが、微修正で済むなら研修分も印刷、根本的な修正が必要だったら来年度分は検討したい。（植上）・1時間目と2時間目は同じ冊子にするか。手引書はどうか。（飯塚）→手引書はデータとして添付。いずれも明日の学習評価WGで検討。（植上）・来年度の研修対象は沖縄と岡山で良いか。（飯塚）→委員の皆さんに確認したい。（植上）・来年度のアクションリサーチ、また11月～12月頃の検証を考えているがどうか。（飯塚）→1時間目と2時間目に関するアクションリサーチはやらないが、3時間目以降のプログラムに関するアクションリサーチは実績のある岡山、沖縄、京都での実施を考えている。新しいプログラムの検証は1、2時間目に引き続き岡山・沖縄で実施を考えている。（植上）→通しの検証も盛岡などどこか別の学校で実施したらどうか。（飯塚）→新型コロナの関係もあり実施時期にもよる。（菊地）・得られたデータやプログラムを作成したことで、予想以上に専門学校の能力構造が興味深く、また可視化していくことが重要なポイントだと実感している。今後は次のステップとして学会等に反映したいと考えている。（植上）1. ICT活用研修WG進捗状況（猪俣）

・資料を基に下記について説明。　1.ICT活用WGの計画について2.研修プログラム開発のための調査（令和２年度の振り返り）3.令和３年度 実証講座について　4.令和４年度の取組みについて【意見等】・成果物としての印刷物は教材と他にあるか。（飯塚）→現在のところ教材のみ。検証後の修正を反映したものを印刷する。（猪俣）→事前学習用のビデオ30数本はHPからのダウンロード形式で良いか。データ量としてはどうか。（飯塚）→HPからのダウンロードを考えている。データ量は確認する。（猪俣）→事後研修のとりまとめの公開についてはどうか。（飯塚）→3月11日までにデータは揃う予定。HPについても調整する。（猪俣）1. その他

・それぞれのWGの成果を今後に向けて確認をお願いしたい。（上里）・成果報告書の動画は事務局まで送付。 |
| 配布資料 | ・研修プログラム1時間目・研修プログラム2時間目・手引き・全専研\_2021年度成果報告用 （研修プログラム）\_ICT活用WG \_音声なし |

以上